

令和6年度 第1回 香南市地域公共交通会議 議事録

■日時：令和6年5月10日（金）14時00分～15時15分

■場所：香南市役所本庁 303・304・305 会議室

■出席委員：別府誠（香南市副市長）

坂本泰資（高知東部交通（株））

中村光明（（株）のいちタクシー）

松山明夫（（社）高知県バス協会）

別役修（香南市社会福祉協議会）

岡村洋祐（四国運輸局高知運輸支局）

西内裕晶（高知工科大学）

下本聖憲（高知県中央東土木事務所）

坂本桂（代理：浅井佑介 高知県交通運輸政策課）

門脇佐代子（香南市教育委員会）

■欠席委員：野島康博（（有）野島ハイヤー）

太田豊（土佐国道事務所）

■事務局等：弘田満紀、小川哲弘、竹下洋隆（地域支援課）

今西俊雄（（有）平和観光）

山本倫世（（有）さくらハイヤー）

金谷正文（土佐くろしお鉄道（株））

吉田雅彦（住民・利用者代表）

宮野広至（四国運輸局高知運輸支局）

宮本誠二（南国警察署）

都築敏夫（香南市高齢者介護課）

山中節子（住民・利用者代表）

1. 開会

委員20名のうち17名が出席しており、会議が成立していることを報告。

（1）副市長挨拶

昨年10月1日の市営バスの再編と、予約式乗合タクシーの運行開始以降、利用者数も増えてきており、利用者の移動ニーズに添った運行となってきたと思われます。

市営バスと予約式乗合タクシーの運行事業者様をはじめ、委員の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

本日の会議の議題としましては、「市営バスの運賃割引制度の改定」について、「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請」について、また「地域公共交通計画の事業評価及び取り組み」について、となっております。

事務局より説明の後に、ご協議いただきたいと思いますので、お願いいたします。

（2）自己紹介

2. 会長の選定

会長に別府委員を選定。別府会長が吉田委員を副会長に指名。

3. 協議事項

(1) 市営バスの運賃割引制度の改定

○事務局より説明

○今西委員

制服や学生証の提示など、高校生以下等であるかどうか判断する基準が必要ではないか。運転手と利用者との間でトラブルとならないか。

→事務局より回答

運転手の負担増とそれに伴う安全性へのリスクも考慮して、利用者の自己申告制を考えている。

○吉田委員

制服であればそれをもって無料、私服であれば学生証を提示してもらうといったルールにしてはどうか。

○西内委員

学生証は毎回提示するのではなく、提示を求めることがあるので市営バスに乗る時は携帯しておいてください、としてはどうか。

→事務局より回答

確認方法について、運行会社と調整する。

○門脇委員

高校生以下無料ということだが、高等学校等に行っていない18歳未満の方はどうか。

→事務局より回答

条例の改正案としては、18歳未満の者及び18歳以上の者であって高等学校等に在籍するものと規定しており、高等学校等に行っていない18歳未満の方も無料となる。

○坂本委員

この改正による無料化で「のいち動物公園線」が満車になるほど利用者が増加した場合の対策は考えられているか。

→事務局より回答

想定はしていない。検討する。

○西内委員

自治体はいろいろな取り組みをしているが、住民に伝わっていないことが多い。今回の改正について、周知はどのようにされるのか。

→事務局より回答

広報やSNSでの周知のほか、市内の学校にはチラシを配るように考えている。

○金谷委員

土佐くろしお鉄道で実施している「土佐くろ夏休みキッズパス」と一緒にPRするような工夫もできればいいと思う。

○別府会長

「市営バスの運賃割引制度の改定」につきましては、協議が整ったということでよろしいか。

→承認

(2) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請

○事務局より説明

○金谷委員

目標2の収支率、令和2年度の11.1%から令和5年度の7.7%に下がっている要因は何か。

→事務局より回答

バスの購入が令和2年度はあり、令和5年度はなかったことが主な要因。バスの購入に係る県の補助金が50%もらえるので、その有無が収支率に大きく影響する。

○今西委員

運転手不足は給料が安いことが原因。市営バスの運転手は10人中4人が70歳代、40歳代はいない。大型2種免許も取得に50万円くらいかかる。目標2の適正な財政運営、この検証に際しては、現状非常に安い運賃についても検証するべきではないか。

→別府会長

運転手不足は県下の、全国的な問題。厳しい実情も勘案しながら、どのようなかたちが一番住民に利用してもらえるか考えていきたい。

○別役委員

バスの買い替えに際して、高齢者や障害者に配慮した低床バスの導入予定はないか。

→事務局より回答

今後、買い替えの際には検討する。

○別府会長

「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請」につきましては、協議が整ったということでよろしいか。

→承認

(3) 地域公共交通計画の事業評価及び取り組み

○事務局より説明

○今西委員

運転手の休憩場所をのいち駅構内に設置できないか。

→事務局より回答

検討する。

○吉田委員

事業No.⑦の「のいち駅と土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討」は、山田高校に通う生徒は雨の日など助かるのではないか。

→事務局より回答

香美市と協議していく。

○西内委員

事業No.⑦については、自動運転バスとして導入してはどうか。非常に安全になってきている。運転手不足という問題もあるので、こういった時にテクノロジーを活用してもらいたい。

事業No.③③の「市職員に対する公共交通利用の促進」については、公共交通も移動の選択肢であるという意識を変える取り組みが必要ではないか。グーグルマップでのルート検索で自動車の経路だけでなく公共交通の経路も検索することができる。そういったことを周知するだけでモビリティマネジメントになる。

○浅井代理委員

高知県でもG T F Sの整備がかなり進んでおり、大半の市町村のコミュニティバスが検索できる。グーグルマップで出発地と目的地を入力するだけで、時刻や経路が表示される。

○別府会長

「地域公共交通計画の事業評価及び取り組み」につきましては、協議が整ったということによろしいか。

→承認

4. 閉会